



11月13日(月)

RICOH「福祉関連業務ソリューション」の方がHAL®腰タイプ介護支援用ロボットの体験会を開催してくださいました。

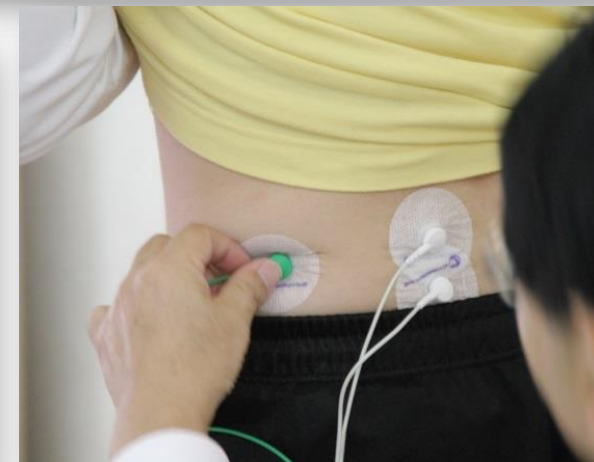


HAL®腰タイプ介護支援用は、移乗介助のような介助動作において腰部にかかる負荷を低減することで、腰痛を引き起こすリスクを減らします。これまで通りの介護を楽に行うことができ、支えられる側だけでなく、支える側も支援します。



職員が一人ずつ実際に HAL® を装着体験させていただきました。

「重い物が軽く感じる」訳ではなく、負担がかかる腰のアシストをしてくれる働きがあるとのことでした。感想としては、まるで腰を上からフイッと持ち上げられるような感覚があり、腰痛の軽減や予防に期待が高まりました。



脳から筋肉を通じて送られた“生体電位信号”を皮膚表面から読み取るセンサーを腰に貼ります。夏場など大汗をかく部分ですので実際に使用した場合はどうなるか気になりますね。